

つむぎ通信

2019
Vol.3在宅連携センター「つむぎ」
TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808
✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

在宅連携センターつむぎ浜松



「ACP」について：家族介護教室の講師をしました！

ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング」の略称。人生の最終段階に受ける医療やケアの希望について、前もってご家族や親しい人と繰り返しお話すことです。愛称は「人生会議」。

背景には、超高齢社会と少子化に伴い、高齢者が増え、その人を支える生産年齢人口が減っている現状があります。これから多死社会を迎え死の迎え方も亡くなる場所も多様化してきます。人生の最終段階を自分らしく過ごすためにも、親しい人と自分の価値観や「もしもの時の話」をすることが大切です。



一般向け介護教室↑

9月12日、地域包括支援センター和地の家族介護教室で、地域の人達に「ACP」についてお話させていただきました。約20名の参加者と「自分が大切にしている時間」「自分は何年生きるか」「自分は何の病気で亡くなるか」「延命治療を含め、人生の最終段階でどのような治療・ケアを希望するか」等、自分事として一緒に考え、書類へ記入し、グループで自分の考えを伝えあいました。難しい話題でしたが、終始笑顔の絶えない、和やかな会になりました。

浜松市の取り組みとして、2019年度ACP周知啓発のため、①市民向け「人生会議手帳」作成、②市民への講演会、③支援者向け研修会開催に向けて準備を進めていて、つむぎも協力しています。「人生会議手帳」は12月頃完成予定です。この手帳をきっかけに、市民の皆様が親しい人と『もしもの時の話』をしていただけることを期待しています。支援者の皆様方にも、この手帳をお読みいただき、ご自分の『もしもの時の事』について考え、誰かとお話ししていただけると嬉しいです。

地域包括支援センターへ訪問しました ～各区の活動紹介～

東区／ありたま、さぎの宮、あんま

東区3包括では、高齢者の孤独死・孤立死を防ぎ、安心して在宅生活を送ることができるよう、民生委員・行政・社協・相談支援事業所・介護支援専門員連絡協議会・新聞店等地域の皆様と協力し、『見守りネットワーク活動』を行っています。「東区あんしんネットワーク連絡会」として、年に10回程会議を行い、しっかりと連携されています。

西区／大平台、和地、雄踏

西区は、海に近い地域・山間部・住宅街があり、地域の差・課題の差も大きいです。大平台では、毎月地域の医師を招いての健康フォーラムが盛況です。和地では、大山いきいきサロンや介護者教室の回数を重ね、地域住民さんへの認知度が高まっています。雄踏では「サロンいな穂」を週3回行い、住民さんの憩いの場になっています。

北区／細江、三方原

三方原は社協や民生委員との繋がりが深く、住民主体のサロン等の会の立ち上げに協力し、そのサポートをしています。北区は昨年度「なにとらシート」の作成に協力されています。サロンに出向いたり、学校で認知症サポーター養成講座を行ったりと顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

相談事例Q&A ～どんな相談に対応しているか、紹介します～



Q：精神科受診を拒否している方の搬送で民間救急車を検討している。
連絡先を教えてください。（地域包括支援センター）

→A：近隣の民間救急車の会社に対応可能か電話で確認しリストを作成。情報提供した。

Q：パーソナリティ障害があり暴言等で一般の訪問看護ステーションのサービスを断られた。精神疾患患者の対応ができ、入浴介助可能な訪問看護ステーションを探している。
（ケアマネジャー）

→A：精神疾患に特化している浜松市内の訪問看護ステーションを紹介した。

Q：器質性パーソナリティ障害の人が入所可能な施設がなく、困っている。また、対応に苦慮している。（ケアマネジャー 居宅介護支援事業所所長）

→A：当事者のみでは解決困難だと判断し、有識者を招き個別対応策検討会議を開催した。

Q：障害年金取得希望であるが、初診日の証明を書く過去に受診した開業医が廃業してしまった。
どうしたらいいか？（他自治体障がい者相談支援センター）

→A：浜松市医師会に確認したところ、脱会している医師は追跡不可能とのこと。障害年金専門の社会保険労務士を紹介し、違った角度から支援出来る方法を提示してもらうよう助言した。

つむぎは、こんな活動もしています！

つむぎの相談対応以外の活動の紹介です。

- 地域包括支援センター主催の地域ケア会議等への参加
- ケアプラン作成研修のアドバイザー
- 地域包括支援センター主催の家族介護教室等での講師
- 医療・介護施設等との意見交換
- 医療・介護施設等へのアンケートの実施 等々

つむぎでは、医療関係者を招いて困難事例に対して検討する会議の開催や専門知識の講義・講演も行ってます。



地域包括ケア病棟意見交換会の運営 ↑

個別対応策検討会議の開催 ↓



編集後記

「つむぎ通信」もVol.3を発行することができました。

ご覧いただき、ありがとうございます。

つむぎではホームページからも情報を発信しています。

「研修情報」から研修会情報や、「相談事例Q&A」

「関連リンク」から各種情報をご覧いただけます。

ぜひ一度ご覧ください。



在宅連携センター「つむぎ」
TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808
✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp